

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 多田 智 (課長補佐兼橋梁係長 高瀬 陽太郎)	内線	4 3 6 2 (4 3 7 8)
------	-------------------	---------------------	-----------------------------------	----	----------------------

事業種目	道 路	事業名	事業区 間	総事業費	約 2.3 億円
		永久橋架換事業 (国)2号 幣塚橋	あかししゅうおずみちょうしみず 明石市魚住町清水	内地補償費	約 0.2 億円
所 在 地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
明石市魚住町清水			平成 18 年度	平成 18 年度	平成 21 年度
事業目的			事業内容等		
<ul style="list-style-type: none"> ・本橋は、大阪市と北九州市を結ぶ物流の幹線である国道2号に架かる橋であり、兵庫県の瀬戸内沿岸の人・物の交流を支える重要な路線である。本整備によりその機能の強化を図り、産業・経済の発展を図る。 ・老朽化が著しい幣塚橋を架け換えることにより、円滑かつ安全な交通の確保を図る。 ・(二)瀬戸川河川改修事業に併せて阻害橋梁を整備することにより、治水安全度を高め、県民の生命及び財産を守る。 			橋梁架替 L = 26.0 m (うち橋梁部 L = 26.0 m) 【計画幅員】 W = 6.5 (16.0) m (2車線 + 両側自歩道 3m) 【現況幅員】 W = 6.5 (9.0) m (2車線 + 単独歩道橋 × 2) 【計画交通量】 30,000 台/日 【現況交通量(H11 センサス)】 自動車交通量 25,600 台/日 自転車歩行者交通量 646 人台/12h 【負担割合】 県 10/10 (アロケ率) 河川 2.5/10 道路 7.5/10		
評価視点					
(1) 必要性 安全・安心の 確保	<ul style="list-style-type: none"> ・当路線は緊急輸送道路に指定されており、昭和6年に架けられ老朽化が著しい当橋梁を架け換えることにより円滑かつ安全な交通の確保と併せ、災害時の輸送機能の強化を図る。 ・当橋梁位置は河川改修区間の最上流部に位置し、下流より順次改修が進められ、橋梁直下流まで整備されている。また橋梁より上流区間は改修済みである。 ・橋梁位置での河川の流下能力の確率規模は 1/10 程度であり、目標である 1/30 に対して 39% 程度である。このため、治水上ネックで残る幣塚橋を河川改修事業と一体的に整備し、治水安全度の向上を図る。 				
暮らしと交 流を支える	<ul style="list-style-type: none"> ・当路線は、物流ネットワーク路線に指定されており瀬戸内沿岸の商業、工業の物流に重要な役割を担っている。当橋梁を架け換えることにより、これら流通の確実性を高め、地域の発展に寄与する。 				
地域二一ズ	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会から早期架け換えの要望が強い。 				
(2) 有効性・効率性 有効性	(参 考)				
代替性	<ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比 B / C = 5 . 6 (幣塚橋を含む河川改修区間全体の値) ・当該橋梁周辺は住宅が密集しているため、道路網及び地形的要因からも現道ルートを尊重した現計画が最適である。 				
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・河川事業により、下流部より橋梁架け換え箇所まで順次整備が進められている。 ・右岸側の河川用地は買収済みであるなど、円滑な事業執行に向け用地取得の面で地元の協力体制が整っている。 				
(3) 環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・車道部には、排水性舗装を採用し騒音の低減、走行性の改善等道路交通環境の向上に努める。 				
(4) 優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・物流の幹線である(国)2号には、老朽橋に位置づけられている橋梁が数多くあり、架け換えの検討を進めているが、その中でも損傷が著しい幣塚橋の架け換えを平成18年度から着手する。 				